

2021 年「地理総合」における喫緊の課題等に関するアンケート

結果速報

皆様には Web アンケートへのご協力ありがとうございました。お陰さまで、全国から 213 件(名)の回答が寄せられました。今後、「地理総合」の実施にあたり喫緊に求められている情報や支援は何か、それにどう対応するかといった視点を中心に、早急に分析を進めてまいります。結果の一部をひとまず「速報」としてまとめましたので、ご覧ください。

2021 年 12 月 6 日

日本地理学会地理教育専門委員会
日本学術会議地理教育分科会
web アンケート担当

□「結果速報」をご覧いただくに際して

○期限(11 月 30 日 23:59)までの回答を単純に集計したもので、学校の重複、高校関係者以外からの回答(2 名)の除外などの調整は行っていません。

○最後の設問の自由記述については、今回の結果速報では省略しました。

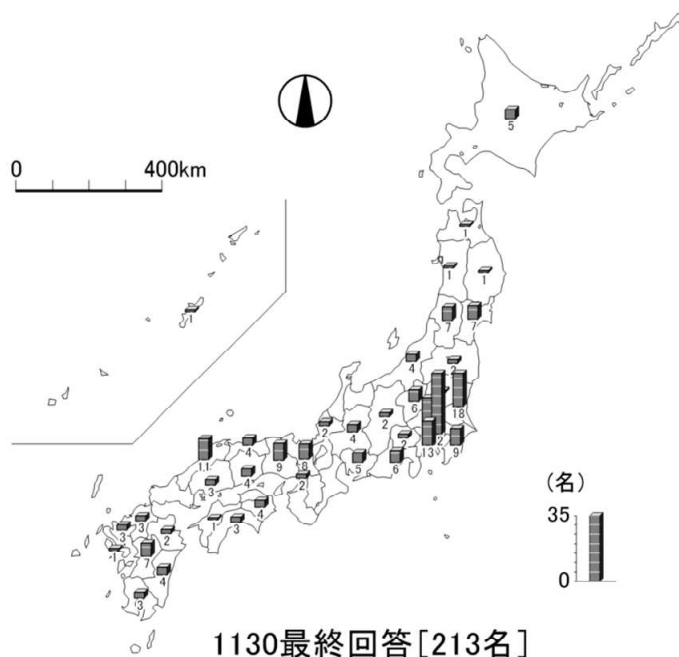
○件数を明示した設問以外の回答数はすべて 213 件(名)です。

○アンケート本文や中間報告 I・II(10 月 10 日・11 月 7 日時点)は、日本地理学会地理教育専門委員会 HP をご覧ください。URL:<https://www2.dokkyo.ac.jp/rese0018/>

〔回答者属性の概要と分布〕

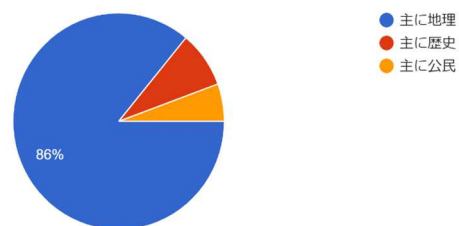
□回答数 213 件(名)(うち中学校・大学関係者各 1 件の回答を含む)

□回答者の分布



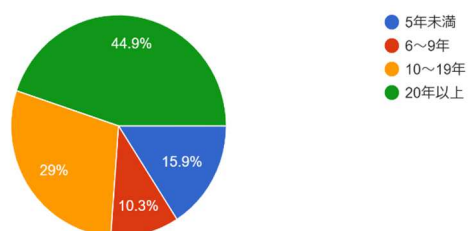
□主な専門分野

➤主に**地理を専門とする教員**が 86%



□教員としての経験年数(非常勤を含む)

➤**ベテラン(20 年以上)**がほぼ半数(44.9%)



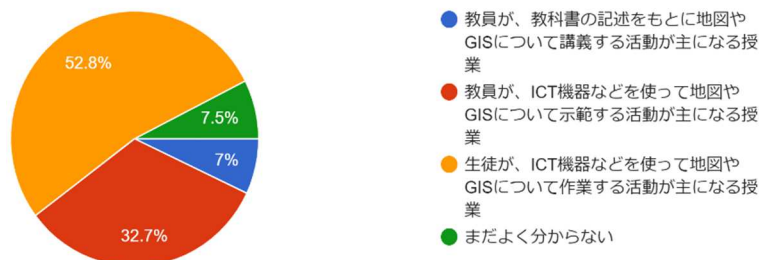
➤回答が 0 件(名)の県は、富山・石川・三重・滋賀・和歌山・奈良・山口・香川 の 8 県

〔授業イメージと喫緊の課題〕

□内容 A(1)地図や地理情報システムと現代世界

○授業イメージ

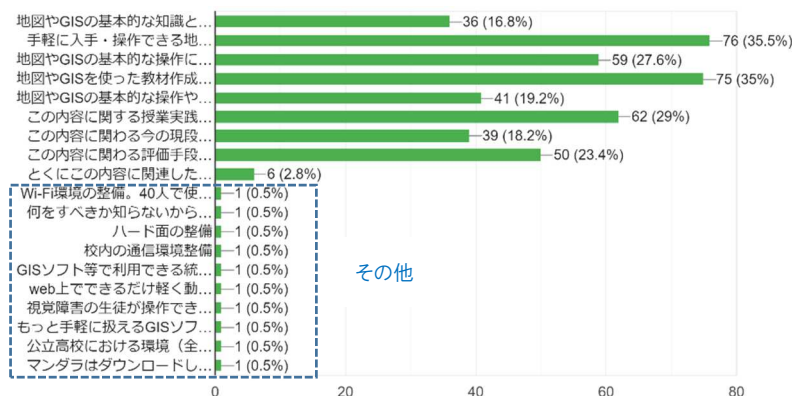
➤ほぼ半数が、生徒がICT 機器などを使って地図や GIS について作業する活動が主になる授業をイメージ



○喫緊の課題と支援(二つまで選択)

➤三人に一人が、手軽に入手・操作できる地図や GIS の種類とその入手先などに関する情報提供と地図や GIS を使った教材作成に関する実践的な研修の必要性を感じている。

- 地図や GIS の基本的な知識とその入手先などに関する情報提供
- 手軽に入手・操作できる地図や GIS の種類とその入手先などに関する情報提供
- 地図や GIS の基本的な操作に関する実践的な研修
- 地図や GIS を使った教材作成に関する実践的な研修
- 地図や GIS の基本的な操作や教材作成に関する YouTube などネット上の研修動画
- この内容に関する授業実践例とその入手先などに関する情報提供
- この内容に関わる今の現段階での大学等入試問題の内容とその入手先などに関する情報提供
- この内容に関わる評価手段・方法とその入手先などに関する情報提供
- とくにこの内容に関連した支援の必要は感じていない。
- その他(記述欄)



□内容 B(1)生活文化と国際理解

○授業イメージ

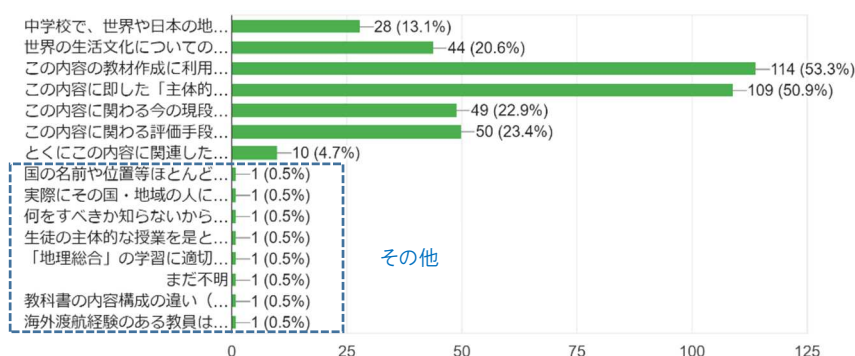
➤三人に一人が、世界各地の生活文化について講義する活動が主になる授業をイメージ



○喫緊の課題と支援(二つまで選択)

➤二人に一人が、教材作成に利用できる画像や動画、統計資料とその入手先などに関する情報提供と「主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)」の授業実践例とその入手先などに関する情報提供の必要性を感じている。

- 中学校で、世界や日本の地誌について学ぶ授業の内容とその入手先などに関する情報提供
- 世界の生活文化についての様々な知識とその入手先などに関する情報提供
- この内容の教材作成に利用できる画像や動画、統計資料とその入手先などに関する情報提供
- この内容に即した「主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)」の授業実践例とその入手先などに関する情報提供
- この内容に関わる今の現段階での大学等入試問題の内容とその入手先などに関する情報提供
- この内容に関わる評価手段・方法とその入手先などに関する情報提供
- とくにこの内容に関連した支援の必要は感じていない。
- その他(記述欄)



□内容 B(2)地球の課題と国際協力

○授業イメージ

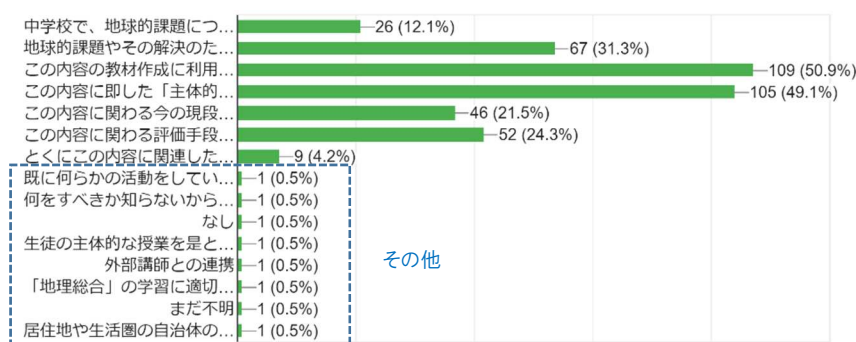
➤三人に一人が、生徒が地球の課題を調べ、国際協力の視点から課題を設定して、それを追究する活動が主になる授業をイメージ



○喫緊の課題と支援(二つまで選択)

➤二人に一人が、教材作成に利用できる画像や動画、統計資料とその入手先などに関する情報提供と「主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)」の授業実践例とその入手先などに関する情報提供の必要性を感じている。

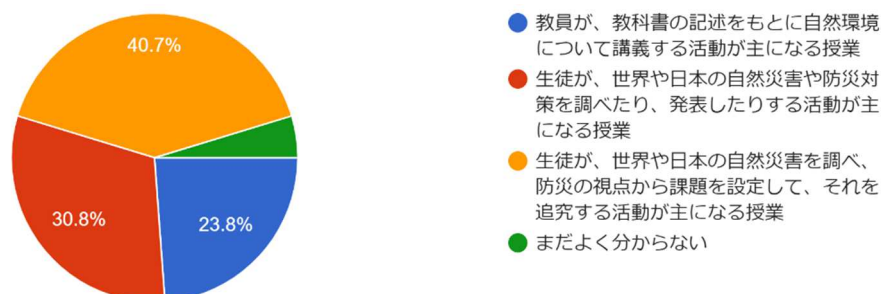
- 中学校で、地球の課題について学ぶ授業の内容とその入手先などに関する情報提供
- 地球の課題やその解決のための国際協力に関わる最近の動向とその入手先などに関する情報提供
- この内容の教材作成に利用できる画像や動画、統計資料とその入手先などに関する情報提供
- この内容に即した「主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)」の授業実践例とその入手先に関する情報提供
- この内容に関わる今の現段階での大学等入試問題の内容とその入手先などに関する情報提供
- この内容に関わる評価手段・方法とその入手先などに関する情報提供
- とくにこの内容に関連した支援の必要は感じていない。
- その他(記述欄)



□内容 C(1)自然環境と防災

○授業イメージ

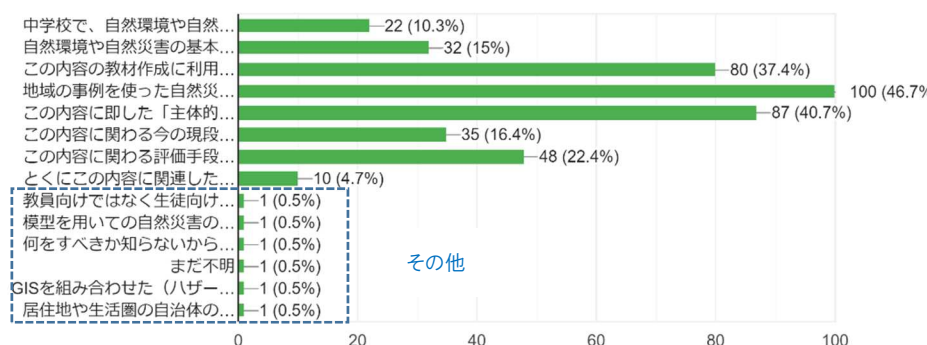
➤ほぼ二人に一人が、生徒が世界や日本の自然災害を調べ、防災の視点から課題を設定して、それを追究する活動が主になる授業をイメージ



○喫緊の課題と支援(二つまで選択)

➤ほぼ二人に一人が、地域の事例を使った自然災害や防災対策の教材作成に関する実践的な研修と「主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)」の授業実践例とその入手先などに関する情報提供の必要性を感じている。

- 中学校で、自然環境や自然災害について学ぶ授業の内容とその入手先などに関する情報提供
- 自然環境や自然災害の基本的な知識とその入手先などに関する情報提供
- この内容の教材作成に利用できる画像や動画とその入手先などに関する情報提供
- 地域の事例を使った自然災害や防災対策の教材作成に関する実践的な研修
- この内容に即した「主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)」の授業実践例とその入手先などに関する情報提供
- この内容に関わる今の現段階での大学等入試問題の内容とその入手先などに関する情報提供
- この内容に関わる評価手段・方法とその入手先などに関する情報提供
- とくにこの内容に関連した支援の必要は感じていない。
- その他(記述欄)

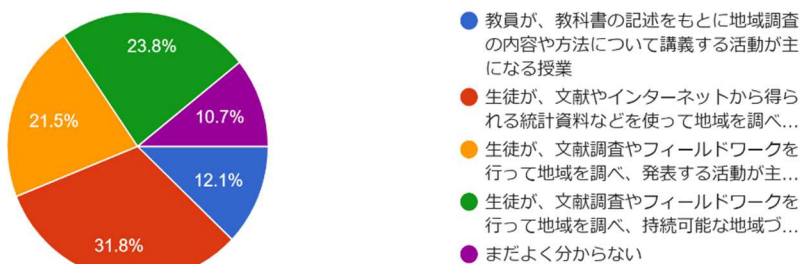


□内容 C(2)生活圏の調査と地域の展望

○授業イメージ

➤ **ほぼ二人に一人が、生徒が文献やインターネットから得られる統計資料などを使って地域を調べ、発表する活動が主になる授業をイメージ**

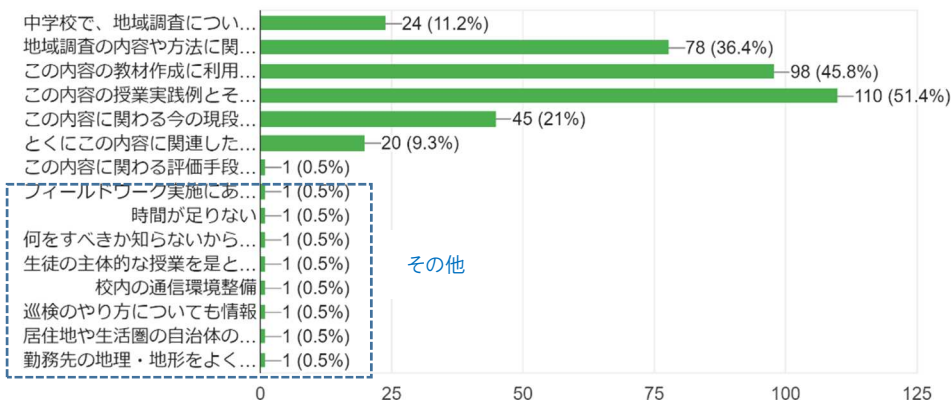
- 教員が、教科書の記述をもとに地域調査の内容や方法について講義する活動が主になる授業
- 生徒が、文献やインターネットから得られる統計資料などを使って地域を調べ、発表する活動が主になる授業
- 生徒が、文献調査やフィールドワークを行って地域を調べ、発表する活動が主になる授業
- 生徒が、文献調査やフィールドワークを行って地域を調べ、持続可能な地域づくりの視点から課題を設定し、それを追究する活動が主になる授業
- まだよく分からない



○喫緊の課題と支援(二つまで選択)

➤ **ほぼ二人に一人が、実践的な授業実践例とその入手先などに関する情報提供と教材作成に利用できる地域の統計資料などとその入手先に関する情報提供の必要性を感じている。**

- 中学校で、地域調査について学ぶ授業の内容とその入手先などに関する情報提供
- 地域調査の内容や方法に関する実践的な研修
- この内容の教材作成に利用できる地域の統計資料などとその入手先に関する情報提供
- この内容の授業実践例とその入手先などに関する情報提供
- この内容に関わる今の現段階での大学等入試問題の内容とその入手先などに関する情報提供
- この内容に関わる評価手段・方法とその入手先などに関する情報提供
- とくにこの内容に関連した支援の必要は感じていない。
- その他(記述欄)

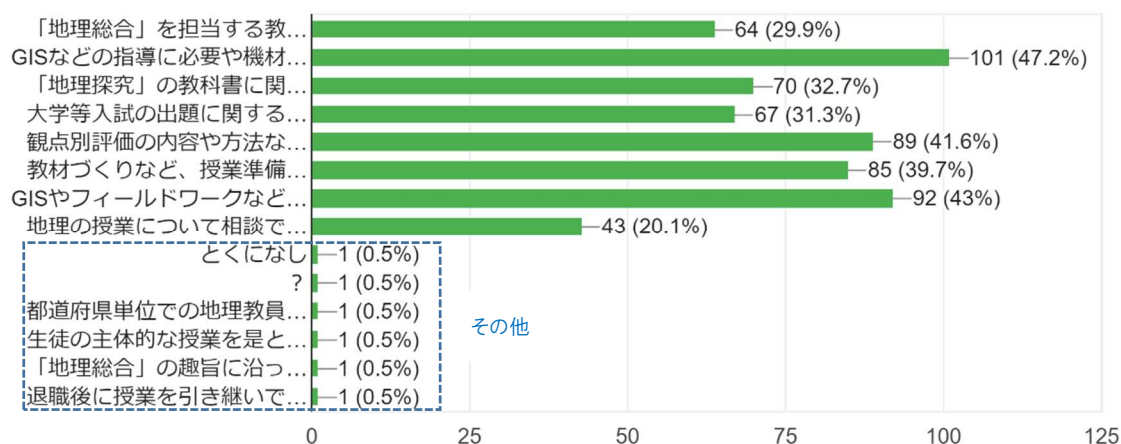


□授業全体に関わる喫緊の課題と支援(三つまで選択)

➤ **ほぼ二人に一人が、GISなどの指導に必要な機材や設備の整備とGISやフィールドワークなどの作業的・体験的学習に必要な授業時間の確保、観点別評価の内容や方法などに関する情報提供の必要性を感じている。**

- 「地理総合」を担当する教員の確保
- GISなどの指導に必要な機材や設備の整備
- 「地理探究」の教科書に関する情報提供(構成や内容)
- 大学等入試の出題に関する情報提供(国公立二次・私大での出題や問題の内容など)

- 観点別評価の内容や方法などに関する情報提供
- 教材づくりなど、授業準備に充てる時間の確保
- GIS やフィールドワークなどの作業的、体験的学習に必要な授業時間の確保
- 地理の授業について相談できる同僚や専門家などの相談相手
- その他(記述欄)



〔地歴・公民科目の設置状況〕

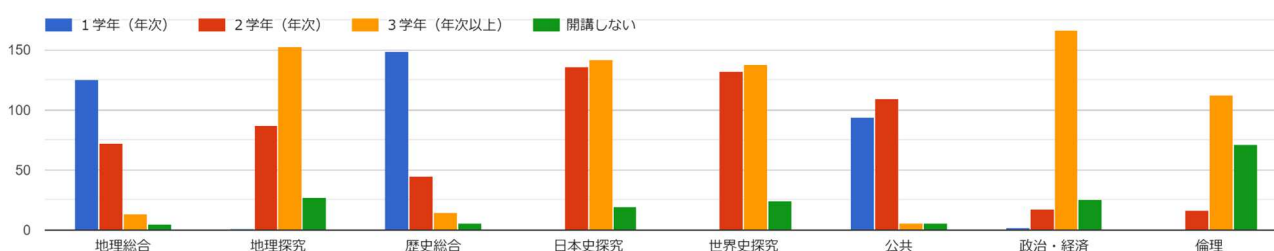
□設置状況・履修学年

➤「**地理総合**」の履修学年は、**1 学年(年次)59.6%、2 学年(年次)33.2%、3 学年(年次)以上 5.3%**(学校数ではなく、回答総数に占める割合である)。

表 地理歴史・公民科の設置状況と履修学年 ()は回答総数に占める割合

	1学年(年次)	2学年(年次)	3学年(年次)以上	設置しない	回答総数
地理総合	124(59.6)	69(33.2)	11(5.3)	4(1.9)	208
地理探究	1(0.8)	18(14.0)	84(65.1)	26(20.2)	129
歴史総合	145(71.8)	41(20.3)	11(5.4)	5(2.5)	202
日本史探究	0(0.0)	38(37.6)	44(43.6)	19(18.8)	101
世界史探究	0(0.0)	37(35.9)	43(41.7)	23(22.3)	103
公 共	90(44.3)	107(52.7)	1(0.5)	5(2.5)	203
政治・経済	1(0.5)	7(3.8)	154(83.2)	23(12.4)	185
倫 理	0(0.0)	9(4.9)	104(57.1)	69(37.9)	182

※上記の表で、**赤字**は中学校・大学関係者の回答 2 件を含む他、「**地理総合**」「**歴史総合**」は必修科目、「**公共**」は必修科目かつ 1、2 学年(年次)での履修が指定されていることから、**誤った回答**の可能性はある。

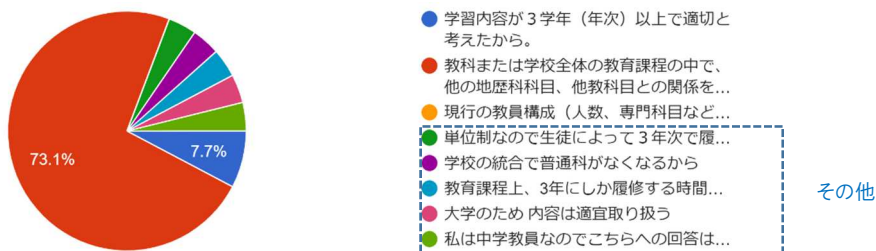


□「地理総合」を3学年(年次)以上に設置・履修する理由

➤ **ほぼ3/4は、教科または学校全体の教育課程の中で、他の地歴科科目、他教科目との関係を考えてから**と回答。

回答数 26 件 ※表1で「履修学年を3学年(年次)以上」とした回答11件とは一致しないことに留意

- 学習内容が3学年(年次)以上で適切と考えたから。
- 教科または学校全体の教育課程の中で、他の地歴科科目、他教科目との関係を考えてから。
- 現行の教員構成(人数、専門科目など)は、担当できる教員がいないから。
- その他(記述)

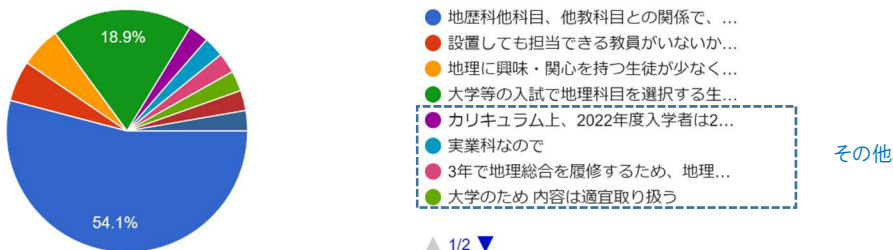


□「地理探究」を設置しない理由

➤ **半数以上は、他の地歴科科目、他教科目との関係で教育課程に設置する余裕がないから**と回答。

回答数 37 件 ※表1で「地理探究を設置しない」とした回答26件とは一致しないことに留意

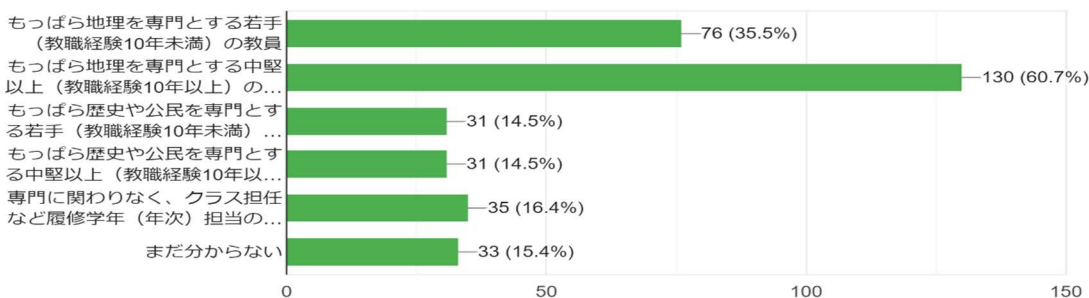
- 地歴科他科目、他教科目との関係で、教育課程に設置する余裕がないから
- 設置しても担当できる教員がいないから。
- 地理に興味・関心を持つ生徒が少なく、設置しても選択者が極めて少ないと推測されるから
- 大学等の入試で地理科目を選択する生徒が少ないと推測されるから
- その他(記述)



□「地理総合」担当者(複数回答可)

➤ **約60%は、地理を専門とする中堅以上(教職経験10年以上)の教員が担当すると回答。**

- もっぱら地理を専門とする若手(教職経験10年未満)の教員
- もっぱら地理を専門とする中堅以上(教職経験10年以上)の教員
- もっぱら歴史や公民を専門とする若手(教職経験10年未満)の教員
- もっぱら歴史や公民を専門とする中堅以上(教職経験10年以上)の教員
- 専門に関わりなく、クラス担任など履修学年(年次)担当の教員
- まだ分からない



□地理歴史・公民科の教員数

➤約半数は、**地理を専門とする教員が0または1人**(学校数ではなく、回答総数に占める割合である)。

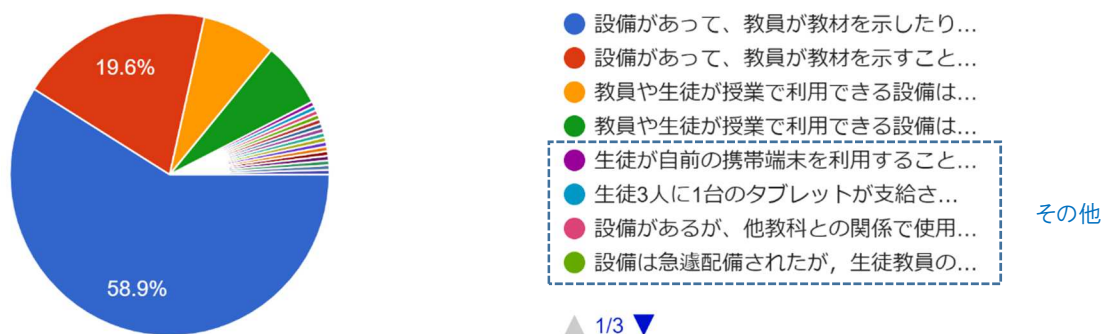
表 2 地理歴史・公民科の教員数

	0人	1人	2～4人	5人以上	回答総数
地 理	10	90	107	6	213
歴 史	11	15	138	49	213
公 民	27	71	103	12	213

〔ICT 設備・機器の整備状況〕

➤約 60％は、**設備があつて、教員が教材を示したり、生徒が学習活動で使ったりできる**と回答(学校数ではなく、回答総数に占める割合である)。

- 設備があつて、教員が教材を示したり、生徒が学習活動で使ったりできる。
- 設備があつて、教員が教材を示すことはできるが、生徒が学習活動に使うことはできない。
- 教員や生徒が授業で利用できる設備はないが、近く整備される予定がある。
- 教員や生徒が授業で利用できる設備はなく、近く整備される予定もない。
- その他(記述)



〔「地理総合」教科書〕(任意回答)

□教科書別採用状況[回答数 204 件]

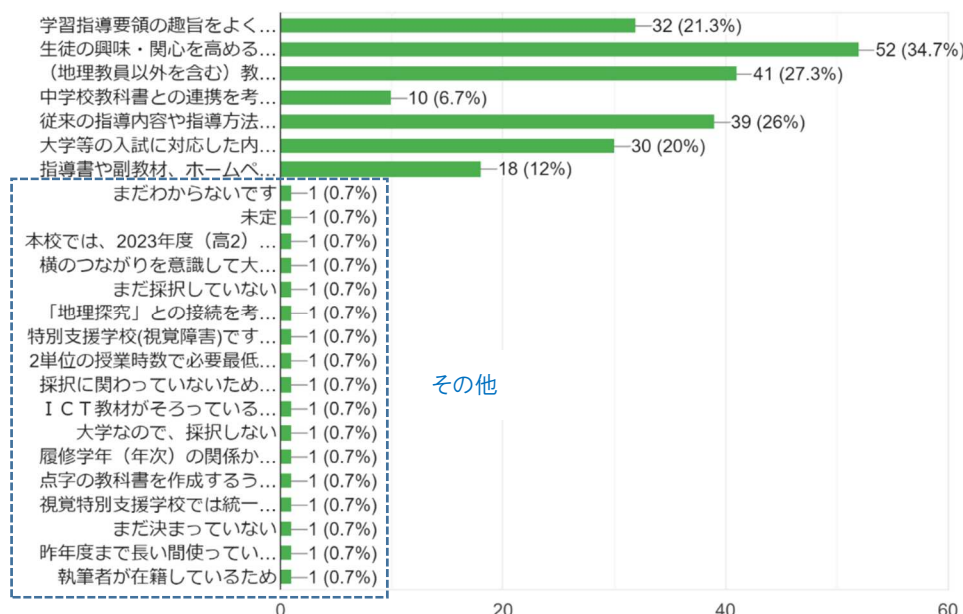
表 3 教科書別採択状況

()は回答総数 204 に対する割合

教科書名	回答数
701 東京書籍『地理総合』	21 (10.3)
702 実教出版『地理総合』	2 (1.0)
703 帝国書院『高等学校 新地理総合』	78 (38.2)
704 二宮書店『地理総合 世界に学び地域へつなぐ』	24 (11.8)
705 二宮書店『わたしたちの地理総合 世界から日本へ』	10 (4.9)
706 第一学習社『高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる』	8 (3.9)
履修学年(年次)の関係から、まだ採択は決まっていない	61 (29.9)

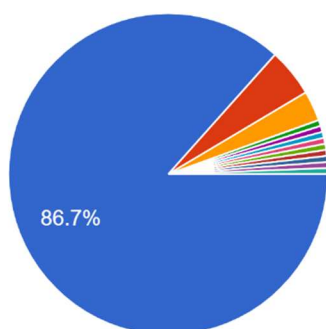
□主な採択理由[回答総数 150 件]

- 学習指導要領の趣旨をよく反映した内容や構成になっているから
- 生徒の興味・関心を高める内容や構成になっているから
- (地理教員以外を含む)教員が教えやすい内容や構成になっているから
- 中学校教科書との連携を考えた内容や構成になっているから
- 従来の指導内容や指導方法を大きく変えずに授業ができそうな内容や構成になっているから
- 大学等の入試に対応した内容や構成になっているから
- 指導書や副教材、ホームページなど教科書出版社のサポートが充実しているから
- その他(記述)



□採択経緯[回答総数 165 件]

- 地理を専門としている教員がおり、その教員が意見をもとに決まった。
- 地理を専門とする教員がいるが、主に歴史や公民を専門とする教員の意見をもとに決まった。
- 地理を専門とする教員がおらず、歴史や公民を専門とする教員の意見をもとに決まった。
- その他(記述)



- 地理を専門としている教員がおり、その教員が意見をもとに決まった。
- 地理を専門とする教員がいるが、主に歴史や公民を専門とする教員の意見をもとに決まった。
- 地理を専門とする教員がおらず、歴史や公民を専門とする教員の意見をもとに決まった。
- 本校では、2023年度(高2)から実施...
- 教科会での協議により決定
- 地理を開講していない
- 特別支援学校(視覚障害)です。点字教...
- まだ決定していないが、地理担当教員...

その他

▲ 1/2 ▼

以上